

授業記録

授業日時	平成 24 年 10 月 18 日 (木) 第 5 限	学部・学年	小学部 5・6 年								
教科・単元など	外国語活動 Lesson4「友達に自分の部屋の場所を案内しよう」										
単元・題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地への行き方を尋ね合う表現に慣れ親しみ進んで道案内しようとする。 ・日本語と英語とでは、建物の表し方が違うことや、人に頼む時の気持ちのよい言い方に気付く。 										
授業場所	<input checked="" type="checkbox"/> 本校 <input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 府立 <input type="checkbox"/> 京大 <input type="checkbox"/> 二赤 <input checked="" type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> PC 教室 <input type="checkbox"/> 特別教室〔 〕 <input type="checkbox"/> 体育館 <input checked="" type="checkbox"/> その他〔病室〕										
	<input checked="" type="checkbox"/> クラス共有 <input type="checkbox"/> グループ共有 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔 <input type="checkbox"/> 制作 <input type="checkbox"/> 交流 <input type="checkbox"/> 収集 <input type="checkbox"/> 習熟 <input type="checkbox"/> その他〔 〕										
ICT 活用の場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input checked="" type="checkbox"/> まとめ										
ICT の活用者	<input type="checkbox"/> 教員のみ <input type="checkbox"/> 児童生徒のみ <input type="checkbox"/> 教員・児童生徒とも										
IWB・PC の活用	教員の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し				児童生徒の活用 <input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し						
		5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	教員										
児童生徒											
TPC の活用	教員の活用 <input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し				児童生徒の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し						
		5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	教員										
児童生徒											
協働教育 AP 活用 <input type="checkbox"/> 利用なし	<input type="checkbox"/> ①画面操作転送 <input type="checkbox"/> ②ロック機能 <input type="checkbox"/> ③画面共有				Skymenu						
	<input type="checkbox"/> ④資料共有 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤資料の協働編集 <input type="checkbox"/> ⑥アドバイス機能				コラボノート						
その他活用機器 <input type="checkbox"/> 利用なし	<input type="checkbox"/> ⑨プロジェクタ <input type="checkbox"/> ⑩実物投影機 (OHC・書画カメラ)										
	<input type="checkbox"/> ⑪ビデオカメラ <input type="checkbox"/> ⑫デジタルカメラ <input type="checkbox"/> ⑬プリンター										
				<input type="checkbox"/> ⑭インターネット <input type="checkbox"/> ⑮CD-ROM <input type="checkbox"/> ⑯DVD-ROM							
				<input checked="" type="checkbox"/> ⑰その他〔 リモートカメラ 〕							
活用コンテンツ	TV 会議システム										
ICT 支援員の支援	<input type="checkbox"/> フル支援 <input type="checkbox"/> ポイント支援										

【授業の流れ】

	指導内容	指導ツール
導 入	2教室及び病室間であいさつをする。 ・今日の気分を英語で表現する。 本時のめあてを知る。「ゲームの中で、建物を英語で表現しよう」	IWB リモートカメラ TV 会議システム
展 開	・前時の建物絵カードを振り返り、リピートする。 ・「What's this?」ゲームを行う。 ・本校と府立に分かれて交互に、絵カードを部分的に隠して相手に見せる。見たいヒントの形を選ぶ際に英語で表現させる。(ヒントボードの活用)	
まとめ	コラボノートに感想を記入する。 終わりのあいさつをする。	上記に加え TPC, コラボノート

【備考】※本授業は、文部科学省 丹羽特別支援教育調査官が視察されました。

前時に引き続き、府立分教室の教員を T1、本校の教員を T2 として、交流活動を重視した学習。本時は、2つの病室の児童も授業に参加した。

TV 会議システムの画面を両教室の IWB に表示するとともに、府立分教室に設置したリモートカメラで T1 教員や絵カードを撮影し、本校側の IWB と、病室の児童の TPC に提示した。

病室では TPC 内蔵のカメラやマイク/スピーカーを使って TV 会議システムを利用したが、若干エコーが入ったため、児童の声が聞き取りづらい場面があった。



丹羽特別支援教育調査官にも御参加いただき、研究授業の協議会を行いました。

TV 会議システムを使った遠隔学習について、何点か御指摘をいただきましたので記述します。

・1時間の授業の間、ずっとTV会議を使えばなしにすると、ディスプレイを見たり、音声のタイムラグを吸収したりしなければならないので、子どもたちが疲れてしまい集中力が持続できないこともある。TV会議を使わないでそれぞれの教室や病室で個別に学習(練習)することも必要である。

・TV会議では、参加者(参加拠点)が多くなると誰が発言しているのか分かりづらいこともある。教員が子どもの発言を促したり、抑制したりする調整が重要である一方、誰が発言しているか分かるしくみも必要ではないか。

【画像による記録】

画像	説明
	<p>府立分教室の授業の全景。 IWB には TV 会議システムの画面とリモートカメラ画面が表示されている。 (教員は壁面にプロジェクタで投影した映像をモニタしながら授業を進めている。) IWB の左側に設置されたウェブカメラで分教室の生徒を撮っている。</p>
	<p>手持ちの絵カードをウェブカメラで撮影し、教材提示を行っている。</p>